



JAPAN MONKEY CENTRE

F A X 送 付 状

公益財団法人日本モンキーセンター

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 10枚

送信日 2015年 12月 24日

申年のお正月を、世界最多種のサル類と祝おう！

日本モンキーセンターのお正月

早いもので、2015年もまもなく終わろうとしています。皆様ますますご活躍のことと存じます。「たき火にあたるサル」の話題では、大変お世話になりました。

ご存知のとおり、来年は申年です。申年のお正月をモンキーセンターの霊長類たちとともに祝っていただこうと、さまざまなイベントを企画しております。サルに親しむだけでなく、世界最多種の霊長類を飼育展示する博物館として、「なるほど！」と学んでいただけるのがモンキーセンターの特徴です。

今回は、以下に★をつけました主なイベントの資料をお送りいたします。

ぜひご紹介いただければ幸いです。

【恒例イベント】

- ★縁起物「奇跡のみかん」の摘み取り(12/28)と配布(1/1~3)
- ・冬の風物詩「たき火にあたるサル」(12/22~2月末の土日祝と特定日)
- ・サルみくじ(1/1~2月末)
- ・モンキーセンターからのお年玉(1/1~2月末)

【新しいイベント】

- ★サルにお年玉 ~一頭一頭に小さな幸せ(1/1~11)
- ★夜猿神社 七福猿と三賢人巡り(1/1~2月末)
- ・企画展「申年縁起物展」
- ・キュレーターズトーク 七福猿と三賢人巡りリレートーク(1月~2月)
- ・その他(KIDSZOOにてお正月遊び、年賀カードの配布等)

縁起物「奇跡のみかん」

今年もゴリラのフンから実をつけた『奇跡のみかん』がたわわに実りました。

どうして「奇跡」なのかと申しますと、実はゴリラのウンチに混じていたみかん（甘夏のなかま）の種が奇跡的に生き残り、大樹となり、甘い実を結んだのです。

奇跡の理由

- ① モンキーセンターのゴリラは毎日、みかん類を食べています。はっさくや甘夏には種がたくさん含まれますが、一部は噛み潰されてしまいます。
- ② 生き残った種はフンとともにゴリラの体内から出てきます。しかし、毎日の清掃によりほとんどが回収され処理されます。
- ③ まれに生き残った種が発芽しても、除草されたり踏み潰されたりして、ほとんどが生き残りません。

奇跡の裏にあるゴリラと植物の関係についても、本企画を通して多くの方に知っていただければ幸いです。

“奇跡”の裏にある大切なこと **ゴリラのフンが森を育てる！**

- ・野生のニシゴリラはさまざまな果実を食べますが、多くの場合、果実の中の種もそのまま飲み込んでしまいます。飲み込まれた種は消化されず、フンと一緒に排出されます。
- ・ゴリラが移動して離れたところにフンをすると、森のあちこちに種が捲かれます。また、フンから出てきた種は、通常の落下種子よりも発芽率が高くなります。こうして植物は子孫を増やしていきます。
- ・ゴリラに種を運んでもらうために、一部の植物はゴリラが好む果実をつけ、飲み込まれやすい種を作るよう進化してきました。
- ・これらの植物とゴリラの共生関係は、長い進化の中で育まれてきました。もしもゴリラが絶滅してしまったら、、、！？
ゴリラを守ることは、森全体を守ることにもつながるのです。

■『奇跡のみかん』の摘み取り

日時：2015年12月28日(月) 11:30～

場所：アフリカセンター

ゴリラの檻の脇のみかんの木の周辺で、奇跡のみかんの摘み取りをおこないます。摘み取りは、ゴリラを室内に収容して実施します。みかんとゴリラが一緒に写った写真は、データにてご提供可能です。

【摘み取りの様子】

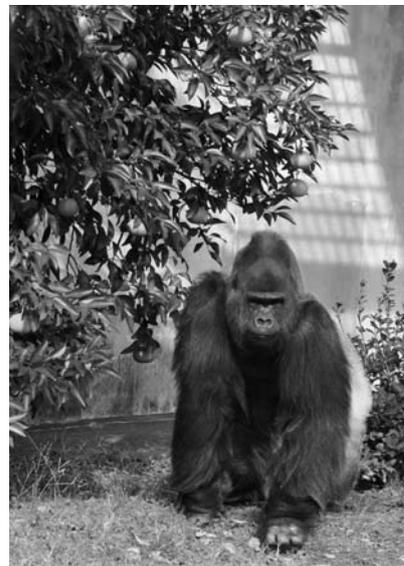


摘み取りの様子。
脚立を使い、スタッフが連携して摘み取ります

【提供可能な写真の一例】



奇跡のみかんと
ゴリラのタロウ①



奇跡のみかんと
ゴリラのタロウ②

■『奇跡のみかん』のプレゼント

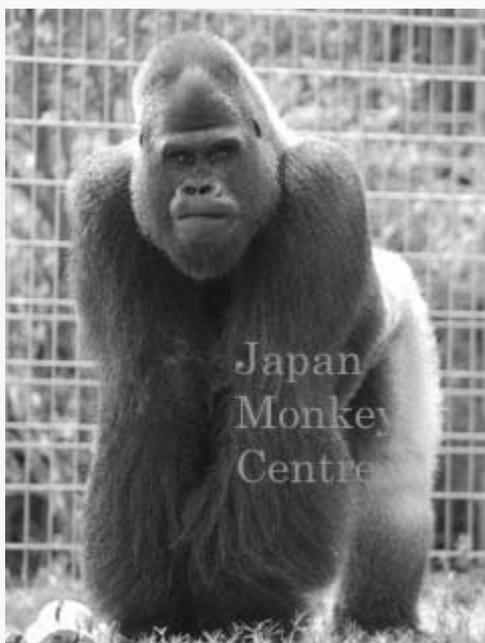
日時：2016年1月1日(金・元旦)～1月3日(日) 10:00～ ※なくなり次第終了

場所：ビジターセンター前

各日先着50個(予定)の「奇跡のみかん」をプレゼントいたします。
※霊長類の保全、福祉、環境教育のために、お志も受け付けます。

【資料：ニシローランドゴリラについて】

ニシローランドゴリラ



英名 Western Lowland Gorilla

学名 *Gorilla gorilla gorilla*

CITES I

IUCN CR

分布



ナイジェリアからコンゴにかけてのアフリカ大陸西部

会える場所

アフリカセンター

- 現生では最大級の霊長類。
- 性差が大きく、オスは大きいもので体重 200kg を超えるものもいるが、メスは 100kg を超えることはない。
- オトナのオスは背中の中毛が白くなり、シルバーバックと呼ばれる。
- 1頭のシルバーバックと複数のメスとその子供によるハーレム型の集団をつくる。大きな群れでは複数のシルバーバックが存在することもある。
- 果実や草、葉、つるなどを主に食べる。
- 地上では、手の指の中節の背側を地面につけるナックル歩行で移動する。大きな体だが、実は木登りも得意。

サルにお年玉

～一頭一頭に小さな幸せ～

お正月は、全ての動物たちに小さな幸せを届けたい！

1/1(金・元旦)から1/11(月・祝)までの11日間で、約900頭の全てに、飼育員が工夫したお年玉を届けます。

日時 : 2016年1月1日(金・元旦)～1月11日(月・祝) 13:30～、その他随時
場所 : 園内放送でご案内いたします。

【主な実施スケジュール】

1/1(金・元旦) : アフリカンセンター

対象動物 : チンパンジーとマンドリル

お年玉袋や門松っぽい竹など、お正月ちっくなフィーダーを使った採食エンリッチメントを行います！普段のフィーダーとの違いにどんな表情を見せてくれるでしょうか？一緒に観察しましょう！

1/2(土) : 南米館(屋内展示室)

対象動物 : マーモセットやタマリン

アラビアガムを使用します。縁日の水あめのような樹液を、小さなサルたちにお客様と一緒に与えながら、彼らの食性を紹介し、楽しみます。(先着20名様)

1/3(日) : Waoランド

対象動物 : ワオキツネザル

くす玉フィーダーを使用します。ワオキツネザルたちがくす玉を割ってくれることを期待しながら、お正月を一緒にお祝いします。

1/4(月) : リスザルの島

対象動物 : ボリビアリスザル

正月らしい鈴型のフィーダーを飾ります。鈴型のフィーダーの中にはめでたい紅白の食材や健康祈願した食材が入っています。時間をかけて採食する姿を見て、お客様と一緒に正月気分を味わいながらリスザルの健康を祈りたいと思います。

1/5(火) : アフリカ館

対象動物 : マントヒヒ、グエノン、コロブスなど

消防ホースを切って作ったお年玉袋に絵や文章をお客様に書いていただき、その中に木の実やフルーツなどをたくさん入れます。開けた時のサルたちの喜びをお客様と一緒に観察しながら楽しむことができるイベントです。(先着20名様)

1/6(水) : Waoランド mini

対象動物 : ワオキツネザル

くす玉フィーダーminiを使用します。Waoランドよりも小さめのくす玉で、皆様と一緒にお祝いします。

1/7(木) : モンキースクランブル

対象動物 : フクロテナガザル

お参りの際、ガラガラ鳴らす神社の本坪鈴に見立てたエサ入れを作りました。このエサ入れは、テナガザルたちが考えて一工夫しなければエサを獲得できないようになっています。テナガザルたちがエサを取る様子を、野生での採食について説明しながら、お客様と一緒に観察します。また、いつもより豪華なおせち風のエサを用意してプレゼントも行います。

1/8(金) : アジア館

対象動物 : ニホンザルなどマカクの仲間、ハヌマンラングールなど

消防ホースを切って作ったお年玉袋に絵や文章をお客様に書いていただき、その中に木の実やフルーツなどをたくさん入れます。開けた時のサルたちの喜びをお客様と一緒に観察しながら楽しむことができるイベントです（先着 20 名様）。

1/9(土) : マダガスカル館

対象動物 : エリマキキツネザル、クロキツネザル、ブラウンキツネザル、ワオキツネザル
フルーツボールを用意します。彩りきれいなフルーツをキツネザルたちが喜んで食べる姿と一緒に楽しみます。

1/10(日) : 南米館（屋外展示）

対象動物 : オマキザル、クモザルなど

神社の賽銭鈴のようなフィーダーで、道具を使うサルたちの行動をお客様に紹介します。また福袋やお年玉で、サルたちにウキウキしながら開けてもらいます。

1/11(月・祝) : ヒヒの城

対象動物 : アヌビスヒヒ

頭数の多いアヌビスヒヒたち全員に行き渡るように、小さな菓子袋をたくさん作りました。中には普段は食べる事のないドライフルーツが入っています。めでたい格好をした担当者と一緒に菓子撒きをして、お正月をお祝いしましょう。

※毎日、対象となる動物が異なるため、お年玉の内容も異なります。詳細はお問い合わせください。

※フィーダーとは食物を与えるための装置のことです。

【イメージ写真】



ワオキツネザル



チンパンジー



ボリビアリスザル

夜猿神社 七福猿と三賢人巡り

サル類の中で最も夫婦仲がよいと言われるヨザルをはじめ、それぞれにご利益がありそうな7種のサル(七福猿)と3種の類人猿(三賢人)を巡っていただくイベントです。

スタートはビジターセンター内に設置された「夜猿神社(良縁成就・夫婦円満)」。

ここで専用のマップをもらい、「ヤクニホンザル(厄が去る)」や「フクロテナガザル(絶対落ちない)」など、園内10カ所の「七福猿と三賢人巡り」スポットを巡っていただきます。

ご利益の由縁は、それぞれの霊長類の生態から連想されるものや、現地の伝承をもとにしたもの、語呂合わせなどさまざまです。詳しくは以下の資料をご覧ください。

日程 : 2016年1月1日(金・元旦)~2月29日(月)

※開園時間中、いつでもご参加いただけます。

場所 : スタート地点はビジターセンター内 夜猿神社



※10種類の絵馬をビジターセンターにて1枚1,000円でお分けします(数量限定)。
収益は霊長類の福祉向上と保全のために活用させていただきます。

【資料：七福猿と三賢人の由縁】

【七福猿】

良縁成就・夫婦円満：ヨザル

良縁成就・夫婦円満の由縁は、一昨年に発表された論文による。いわく、ヨザルは全霊長類の中で最も一夫一婦制が強く、夫婦仲良く連れ添うゆえ浮気もほとんどなく、父親は積極的に子育てをすること。まさに「猿」結びのサルなり。

厄去る：ヤクニホンザル

古来、ニホンザルは山の神として祀られ、魔が「去る」として病や厄を取り去るものと信じられた。ヤクニホンザルの「ヤク」は生息地である屋久島に由来する。魔を去るニホンザルに「ヤク」が付くならば、厄を去る靈験さらにあたらかなり。

子孫繁栄：マントヒヒ

古代エジプトの民はマントヒヒに畏敬の念を抱けり。オスの勇壮な体軀は高貴な美徳である生殖能力の高さを象徴し、発情周期に合わせて性皮がふくらむメスは、月の運行を司るものとして知恵や時の神「トート」と結びつけられた。マントヒヒに願をかければ、繁栄すること古代エジプトのごとし。

金運：ゴールデンマンガベイ

「ゴールデン」と付くその名に恥じぬ、胸から腹部にかけての美しい金色の毛並みは、黄金を連想させるものなり。当園の飼育個体リート♂は国内最後の一頭となってしまったゴールデンマンガベイであり、その希少性という意味でも「ゴールデン」にふさわしきものなり。

必勝祈願：ハヌマンラングール

必勝祈願の由縁は、古代インドの叙事詩「ラーマヤナ」によるものなり。ラーマ王子が誘拐された妻シータを助けようとする場面で活躍するのが、戦いの神「ハヌマン」である。インドでは今もハヌマンラングールを大切に扱い、寺院や都市部でも見ることができる。

いっぱいお得：トクモンキー

「トク」とは本来、頭部の毛が「トク帽」と呼ばれる帽子の形に似ていることによるが、当園のトクモンキーはとても仲が良く繁殖も順調で、多くの個体が寄り添う姿を見ることができる。徳あれば「得」あり。トクモンキーにあやかり、いっぱい「得」されたし。

旅行安全：ワオキツネザル

ワオキツネザルは移動する時、尾を立てて歩く。これは視覚・嗅覚の両面において仲間へ合図やアピールをするためなり。バオバブやカメレオンなど固有種の宝庫であるマダガスカルは異国情緒あふれる島だが、シマシマの尾があれば迷子になることもなく、道中安全なり。

【三賢人】

絶対落ちない：フクロテナガザル

テナガザルは、樹高七十メートルにも達する東南アジアの熱帯雨林に暮らし木から木へと自由自在に移動し、ほとんど地上に降りることなく一生を樹上で過ごす。常に高みにありて下ることなし。絶対落ちない由縁なり。

家内安全：ニシローランドゴリラ

家内安全の由縁は、ゴリラの社会生態による。ニシローランドゴリラの社会は一夫多妻制であり、オスの体重はメスの二倍ほどにもなる。力や信頼のあるオスは多くのメスや子どもにも囲まれてくらす。その姿はまさに一家の大黒柱なり。

健康長寿・学業成就：チンパンジー

健康長寿と学業成就の由縁は、ヒトに最も近縁なチンパンジーの認知能力や生態による。六十歳を超えて生きることもあり、ヒトのような閉経はなく一生現役である。また瞬間記憶など一部の認知能力はヒトより優れていることが、最近の研究で明らかとなっている。

【写真資料】



ビクターセンター内に設置された
「夜猿神社」



霊長類中、最も一夫一妻性が強いと
言われる「ヨザル」

【資料：ヨザルについて】

ヨザル



英名 Owl Monkey (Night Monkey)

学名 *Aotus trivirgatus*

CITES II

IUCN LC

分布



ベネズエラからブラジルにかけて

会える場所

南米館・ホール

- 真猿類で唯一の夜行性のサル。
- 大きな目をもつが、夜行性の原猿類のようなタペータムはもたない。
- 果実を主に食べるが、葉、昆虫なども食べる。
- マラリアに対する感受性がありながら発症しないという特徴があり、実験動物としても利用されてきた。

お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26 公益財団法人日本モンキーセンター

TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp

担当 : 学術部 高野、赤見、新宅、綿貫、早川、江藤